



開かれた議会・行動する議会・実行する議会へ

羽幌町議会議長 熊谷 俊幸

明けましておめでとうございます。皆様には、平成31年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。平成30年9月議会で新議長に就任し、改めてその職責の重さを痛感しておりますが、平素より町議会に対し温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、国内では台風、豪雨、地震など甚大な災害が頻発し、9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震では、道内初の震度7を観測、41人の尊い生命が犠牲となりました。道内の地震災害では過去最大規模との報道もありましたが、この地震の影響でブラックアウトという大停電が発生し、本町でも市街地区で1日以上停電による不安な生活を余儀なくされ、道民にとってこれまで経験したことのない出来事でありました。

犠牲となられた方々に対し、心からご冥福をお祈りするとともに、被災地におかれましては、一日も早い復興を待ち望んでおります。これを教訓に、災害に対する心構えや備えを怠ることなく、日々の暮らしに活かしてまいりたいと考えております。

このような中、本町の基幹産業である農業、漁業では、天候不順や不漁傾向の魚種など懸念される状況にありました。本年は豊作・豊漁の希望を持てる年となるよう願っております。商工業では、起業など明るい話題もあり、今後に期待を寄せております。公共施設では、武道館の建設工事が始まり、本年11月に完成予定であります。このほか、公民館をはじめ公共施設マネジメント計画等に基づく施設整備につきまして、今後においても議論を重ねてまいります。

重要課題の医療体制の充実では、

道立羽幌病院の整形外科をはじめとする常勤専門医の配置など解決すべき課題もありますので、関係団体等とも連携しながら取り組みを進めてまいります。

さて、議会機能の拡充や活性化を目的に設置した「議会・行政改革特別委員会(全議員で構成)」では、「議会機能の強化」「広報・広聴」「議会基本条例」の三つのテーマ毎に、引き続き調査・検討を進めております。昨年4月からは「常任委員会・特別委員会の会議録」を、年末には「一般質問の音声」を、それぞれ町ホームページ上で新たに公開を始めました。又、一般質問における「再質問時間の延長」や、町理事者側への「反問権の導入」、「青年層や転入者との意見交換会」も開催しました。本年1月には、「ボランティア団体との意見交換会」を予定しており、皆様の声を議会活動に反映するた

め広聴活動にも意を注いでおります。テーマの一つでもある「議会基本条例」など、継続して議論すべき案件もありますが、議会改革をさらに進め「開かれた議会・行動する議会・実行する議会」をモットーに、議員一同鋭意取り組んでまいります。

ご承知のとおり、現議員の任期も残り3箇月余りとなりました。医療、防災問題をはじめ、数多くの懸案事項が山積しておりますが、真摯に皆様の声を受け止め、未来に繋がる郷土発展のため議員一同、研鑽・努力してまいります。一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成では、最後となる新たな年が、皆様にとって喜びと幸せな一年でありますよう、衷心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。